平成30年度 佐賀県PTA連合会定期総会開催

佐賀県PTA新聞

発行所
佐賀市与賀町1−24
佐賀県PTA連合会
☎0952−㉖2276
印刷　佐賀印刷社

発行責任者
会長　江田 明弘

語り合おう！
「家庭の日」
（毎月第三日曜日）

ごあいさつ

佐賀県PTA連合会
会長　江田　明弘

会員の皆様には日ごろよりPTA活動を展開されておられることに、心から敬意を表しますとともに、佐賀県PTA連合会へのご理解とご支援を賜っておりますことに、心から感謝を申し上げます。

また、佐賀県PTA連合会は創立七〇周年を迎えました。多くの会員の方々や関係機関の皆様、諸先輩方へこれまで育てていただいたことに対して、重ねて心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、PTAの方については様々な議論がありますが、身近に感じる部分だけではなく少し視点を変えて見ていただきたい部分があります。

私たちPTAが行う活動には、大きく二つに分けることができます。一つは各学校を基本とした単位PTAの活動で、わが子が通う学校を中心にした活動で、PTA活動の基本であり子ども達の顔を見ながら地域に密着した活動ができます。もう一つは、保護者の声を教育行政に反映させる活動です。これは個人や単位PTAだけでは簡単に届かない声を佐賀県であれば佐賀県PTA連合会、各市町であれば各市郡連の連合会、協議会がみなさんを代表して届けます。いざなればそこは全国組織のPTAです。政府や文部科学省にも日本PTA全国協議会などを通じて声を届けることが出来るのです。教育課題、子ども達の問題に対応した、保護者や現場の先生方の声を、PTAを通じて行政に少しでも早く、そして多く届けるべく、教育委員会や教育関係機関とのつながりを密にしていきたいと思います。

「恩送り」

恩を受けた人に直接恩を返すことを「恩返し」、受けた恩を忘れてしまうことを「恩知らず」と言います。「恩送り」とは受けた恩を誰か別の人に送り、その人がまた別の人に渡すことで恩がぐるぐると世の中を回るということです。親から受けた恩、先生から受けた恩、友人から受けた恩、見知らぬ人から受けた恩、大きな恩もあれば小さな恩もあります。きっと私たちが子どものころ知らないPTAの大人たちに見守られていたからこそ今があります。謙虚な気持ちで受けた恩を世の中に返したいものです。私たちと一緒にPTA活動を通じてやってみませんか「恩送り」。

ランドセル

今年の須古小学校には、男の子十名、女の子九名が、入学しました。

夢や希望がいっぱい詰まった、ランドセルを背負い、登校している姿を見ると、五年前の長男を思い出しました。当初は、心配もしましたが無事成長し、今では六年生です。

本校では、最上級生が先頭で一列に並んで歩いての通学です。まるで、カルガモの行進みたいで、とても可愛らしく、その姿をみかけると、ほのぼのとした穏やかな気持ちで職場へと向かう事ができます。

そんな雨の日や風の日も頑張って登校している子ども達をPTAでは、交通当番をして見守り活動を行っております。当番日誌には、『元気で登校しました』他に『横断の時に、止まって頂いた車の人にご挨拶がちゃんと出来た』などの記載が有り、子ども達の日々の成長を確認する事ができます。

また、地域の方々にもいつも優しい目で見守って頂き、子ども達の安全な登下校に協力してもらっています。今後も、地域の方々と共に多くの目で、この光景が続く様に、見守っていきたいと思います。

今年度県PTAのスローガンは親も子も、ともに成長、ともに進化です。私も二人の子どもと、ともに成長、進化したいと思います。

須古小P　川﨑　大

子育て応援メッセージ
ともに学び！ともに成長！

◎つながろう！　元気にあいさつ　笑顔でね
◎伝えよう！　感謝の気持ち　ありがとう
◎育もう！　食卓でつくる　家族の絆
◎見守ろう！　地域ぐるみで　輪になって
◎受けとめよう！　子どもの心　メッセージ
◎話し合おう！　ルールを守って　情報モラル

我が家の子ども達も、六年と九年（中三）になり、やって来ました思春期です。ホルモンのバランスの変化によるイライラを発散しています。思春期だからと理解しているつもりでも、ぶつぶつ言われるとこちらもつい「何でそがん事言うと？」と言ってしまいます。しまった！と反省しながらも、また言い合いに。子どもが悪いのではなく、成長の過程と思うように自分を変えてみようと試みている最中です。一言口に出し、いけなかったと思った時はしばらく黙ってみてイライラした事を忘れるようにしています。しばらくすると心も落ち着きいつもの様に接する事が出来ます。そんな悩みも後どのくらい続くのでしょうか。「あの時あんな事があったよね。」と懐かしく振り返る日が来るよう子ども達と楽しく過ごせたらなぁと思う今日この頃です。

東原庠舎中央校P　飯盛　友紀

私が子育てをする中で大切にしている事は、家族みんなですごす時間です。…とは言っても共働きの主人と私、社会人二年生の十九才の長男、そして塾や習い事で毎日大忙しの小五の二男の家族四人がそろう時間というのは、本当に年々減ってきました。食事の時も、誰かが欠けている事が日常になっている中、たまに全員がそろうと、会話がはずみ、とても楽しい食卓となりました。その時、二男が「みんなでごはん食べると、一段とおいしいね。」と一言。確かに家族みんなが一緒にすごす時間が、一番のごちそうになった事を感じました。

子どもたちの成長と共に、家族みんなですごす時間は少しずつ減っていきますが、その中でもみんながそろうちょっとの時間を、これからも大切にしていきたいと思います。

大坪小育　松尾　陽子

東原庠舎西渓校の育友会活動

東原庠舎西渓校育
会長　石丸　英雄

西渓校は、平成二十五年四月に西部小、中部小を再編し西渓小、西渓中と小中一貫校となり平成二十九年四月に義務教育学校、東原庠舎西渓校が開校しました。生徒数約二百八十名で育友会は、会長一名、会長代理二名、副会長三名、母親部、広報部、財政福祉部、生活環境部で活動しています。西渓校では、十月に生徒の研究発表として西渓CSフェスタを行っています。その時に、財政福祉部の担当で育友会バザーも行っています。地域のみなさんより寄付して頂いた品物を出品しCSフェスタを見学に来ていただいた方々に販売しています。毎年たくさんの方々に来場していただきたいへん盛況です。また西渓育友会は、学校・親の本会員地域の準会員で、子どもの通学時の安全確保の為学校周辺の交差点にて立ち番を行っています。また、夕方は週一で、生活環境部、地域から区長会、体育協会、交通安全協会その他のみなさんで孔子の里パトロールと題し学校周辺を交代で見廻って頂いています。このように本校では、まず子ども達が安全に通学出来るようにまた、帰宅時も安心して帰れるようにと今子ども達になにが必要なのかと地域、育友会が考え活動しています。私達育友会は、これからも学校、地域、育友会が一つになり子ども達が、どう安全な生活が出来るか、どう守って行くかを話し合いながら育友会活動を行っていきたいと思います。

大坪小学校の育友会活動

大坪小育
会長　小村　聡

本校は、伊万里市中部の大坪町にあり明治十六年に開校、今年創立百三十五周年になる歴史と伝統のある学校です。学校には、児童たちの登下校を見守る赤レンガで築かれた、立派な赤門（せきもん）がそびえっています。その赤門に通じるアプローチには町の木でもあり、地域の方々の思いが込められて植えられた柾があり、赤門とまさき道が学校のシンボルとされ、児童を赤門健児と呼んでいます。

さて、私達の様々な活動の中で、昨年度大々的に図書館リニューアルを行いました。校長先生の「今の暗くて活気のない図書館をどうにかしたい！」という依頼がありました。木のぬくもりのある、明るい、手作り図書館というコンセプトで始まりました。各専門委員会で作業を分担し、夏休みに一斉作業を行いました。木材を購入し、平置き本棚、楕円展示台等の木工制作物を父親中心に制作し、キルティングで椅子カバー等の制作を母親委員会がしました。それらの制作物の設置、本を紫外線より守るため、窓にUVフィルム張り、クッションマットを使い寝ころびスペースの設置等の作業を各専門委員の方で行いました。六年分会では、親子で本のポップ作り、本棚の焼き印入れ等の作業をしました。たくさんの方のご協力で素晴らしい図書館が完成しました。

子ども達には、本に親しみを持ち、本を読んで学ぶ楽しさを知ってほしい。子ども達が笑顔になれる場所。

そこが赤門図書館です。

特色ある単Pの活動
〜多久市・伊万里市編〜 Vol.53

佐賀県PTA連合会推薦　小中学生総合保障制度（こども総合保険）について

お子様の「ケガ」「育英費用」やご家族の「個人賠償責任」などに備えられます。

学校内はもちろん、放課後の遊戯中・クラブ活動中や休日のレジャー中の事故など様々なケガに備えられます。

他人にケガを負わせたり、他人のものを壊したりして法律上の損害賠償責任が生じた場合に備えられます。

※保険商品の概要を説明したものです。詳細につきましては取扱代理店にお問い合せください。

○制度に関するお問い合わせ先：**0120−228−553**　佐賀県PTA連合会保障制度事務局（取扱代理店：株式会社コーリン）
受付時間：平日午前9時〜午後5時（土・日・祝日、年末年始を除く。）

○制度引受保険会社：AIG損害保険株式会社　東京海上日動火災保険株式会社　損害保険ジャパン日本興亜株式会社

2018年7月現在の内容です。